

山口市新本庁舎等基本設計・実施設計業務の受託候補者の特定について

令和元年10月3日
山口市総務部本庁舎整備推進室

新本庁舎等基本設計・実施設計業務の委託を行うに当たり、公募型プロポーザルによる選考を実施し、次のとおり受託候補者を特定しました。

1 業務名

山口市新本庁舎等基本設計・実施設計業務

2 受託候補者として特定した者

- (1) 名称 株式会社石本建築事務所 九州オフィス
- (2) 所在地 福岡市博多区綱場町2番2号
- (3) 代表者 オフィス代表 上川 滋

3 特定した日

令和元年10月2日

4 受託候補者の特定

(1) 特定手順

本プロポーザルの実施に当たり、「山口市新本庁舎等基本設計・実施設計業務委託に係る公募型プロポーザル評価委員会（以下「評価委員会」という。）」を設置し、選考を実施しました。

選考に当たっては、第一次及び第二次審査を実施し、第一次審査として、「事務所の評価」、「配置技術者の資格」「配置技術者の技術力」の評価項目で書類評価を実施し、第二次審査では、「業務実施方針」及び「技術提案等」の審査資料をもとに、書類審査並びに提案内容のプレゼンテーション及びヒアリングにより評価を行いました。

これら評価により、評価委員会では、最終的に第一次審査と第二次審査の得点の合計により、最も高い得点を獲得した「株式会社石本建築事務所九州オフィス」を受託候補者として選定することを全会一致で決定されました。

さらに、評価委員会の選定結果について、庁内で組織する「山口市新本庁舎等基本設計・実施設計業務委託に係る公募型プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）」の審査を経て、評価等が適正に行われたことを確認し、評価委員会が第一位の評価を行った「株式会社石本建築事務所九州オフィス」を受託候補者として特定しました。

(2) 評価委員会の開催状況

- ① 日時 令和元年9月29日 午前10時00分から
- ② 場所 山口市市民会館 会議室及び小ホール

③ 出席者（全評価委員出席）

	職 名	氏 名
委員長	山口大学大学院 教授	鳩 心治
委 員	山口県立大学 教授	前田 哲男
〃	山口大学大学院 准教授	瀧本 浩一
〃	山口県立大学 教授	ウィルソン エイミー
〃	山口県建築士会 会長	松田 悦治
〃	山口商工会議所 副会頭 山口ライフスタイル委員会担当副会頭	川久保賢隆
〃	山口市市民活動支援センター センター長	渡邊 洋子
〃	第二次山口市総合計画一緒に創る未来懇話会メンバー	徂徠満美子
〃	市職員（参与）	財間 俊治
〃	市職員（総務部次長）	濱田 和昌
〃	市職員（都市整備部建築課長）	山本 聖史

④ 評価方法

本プロポーザルへの参加資格を有する下記の応募者について、本プロポーザル実施要領に基づき第一次審査及び第二次審査を行いました。

	応募者名称	所在地
1	株式会社佐藤総合計画九州オフィス	福岡市博多区
2	梓・光井純アト・アソシエーツ設計共同企業体	福岡市中央区
3	株式会社石本建築事務所九州オフィス	福岡市博多区

⑤ 評価結果

提案者名称	評価点
株式会社石本建築事務所九州オフィス	2, 779. 50点
A社	2, 742. 83点
B社	2, 523. 56点

⑥ 受託候補者の選定理由（評価委員会講評）

評価に当たり、第一次審査として、「事務所の評価」、「配置技術者の資格」「配置技術者の技術力」の評価項目で書類評価を実施し、第二次審査では、「業務実施方針」及び「技術提案等」の審査資料をもとに、書類審査並びに提案内容のプレゼンテーション及びヒアリングにより評価を行いました。

最終的に第一次審査と第二次審査の得点を合計し、最も高い得点を獲得した「株式会社石本建築事務所九州オフィス」を受託候補者として選定することを決定しました。

受託候補者として選定した「株式会社石本建築事務所九州オフィス」については、基本計画の理解度が最も高く、全体的にバランスよく、一つひとつの提案がしっかりと考えられていました。評価点においても、第二次審査の全ての評価項目で他の2者を上回る評価となり、受託候補者にふさわしい評価となりました。

提案の中では、山口の歴史、文化、自然の魅力と活力、そして潜在力を最大限

に引き出す「県都山口」にふさわしい「市民の丘」をコンセプトに、庁舎づくりについて分かりやすく、丁寧に説明され、また提案内容も的確かつ創造性に富んでおり、実現性を感じさせる点を高く評価しました。

とりわけ、国の補助金活用の提案をはじめ、費用対効果を考慮した上での最先端設備の導入によるライフサイクルコストの縮減についての考え方や、国籍や障がいの有無、さらにはジェンダーを超えたダイバーシティ時代のユニバーサルデザインについての言及、あるいは、経済性、環境負荷を考慮した免震構造の提案など現代に則した災害拠点構築に向けた説明がなされた点などを高く評価しました。また、隣接する消防本部との接続性、連携の可能性にも触れられるなど将来を見据えた提案も評価されました。

次点となったA社については、受託候補者と遜色の無いレベルの高い提案であり、その得点差も僅差でした。庁舎の顔づくりやシンボル性を大切にされ、また議会棟を別棟で提案されるなど、意欲的な提案内容は委員の多くが好意的に受け止めました。一方で、ランドスケープの観点や、提案内容の創造性など、僅かですが評価に差異が生じ、相対的に受託候補者の方がより高い評価となりました。

また、B社については、基本計画の考え方を十分に理解された上で、その枠に捉われない大胆な提案内容であり、特に亀山、サビエル記念聖堂の景観を大切にされる姿勢、あるいは賑わいの場としての庁舎づくりに対する思いには評価委員も共感を持ったところです。しかしながら、庁舎周辺の歩行者動線に対する考察や提案の実現性の観点などが審査において課題となりました。

終わりに、受託候補者として選定した「株式会社石本建築事務所九州オフィス」には、提案資料の発想や基本計画の考え方をさらに磨き上げ、市民の期待に応える設計作業を進めていただけることを期待しています。

(3) 審査委員会の開催状況

- ① 日 時 令和元年9月30日 午前9時15分から
- ② 場 所 山口市役所 第2会議室
- ③ 出席者
全審査委員出席（会長：伊藤副市長）

副市長、総務部長、総合政策部長、交流創造部長、地域生活部長、 環境部長、都市整備部長、消防長、総務部政策管理室長

④ 審査方法

評価委員会からの報告に基づき、評価委員の採点が適正に行われ、また審議及び採点の集計等が適正に行われたかなどについて審査を行いました。

⑤ 審査結果

審査委員会は、評価委員会の評価が適正に行われたことを確認し、評価委員会が第一位として選定した者を受託候補者として特定することについて、審査委員全員の総意をもって確認しました。